

都島区

ごみゼロ



リーダー

ニュース

第21号

令和2年3月発行

ごみのゆくえを知ろう！

バスで行く施設見学会は中止になりました。

令和2年3月5日（木）、廃棄物減量等推進員さんを含め30名で、野村興産(株)関西工場へリサイクル施設見学会を開催する予定でしたが、最近猛威をふるっている、新型コロナウイルスの感染症拡大防止に向けた取り組みにより、開催中止となりました。参加申し込みをいただいた皆様には、誠に申し訳ございませんが、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

平成30年10月より大阪市で蛍光灯の電話等での申し込みによる訪問回収が始まりましたが、本年度はその蛍光灯がどのような工程でリサイクルされるのかを見学していただく予定でした。

今回は、残念ながら中止になりましたが、次年度へ延期とさせていただき、改めて参加募集をいたします。リサイクル施設見学会は3Rの取り組みに向けて、意識向上を図るのにとっても良い機会となりますので、皆様ふるってのお申し込みをよろしくお願いいたします。

関西工場



見学予定をしていた
野村興産(株)関西工場です。



ごみ減量について

最近ごみに関するニュースをよく耳にしませんか？「食品ロス」「海洋プラスチックごみ」「レジ袋の有料化」などがよく話題になっていると思います。

いずれも、「もったいない」「地球環境を大切に」というテーマにより、関心が高まっているわけですが、その根底にはごみ減量という大切なテーマがあります。

「混ぜればごみ、分ければ資源」という言葉がありますが、分別を徹底しごみを減らしていくことが、地球環境を大切にすることにつながっていきます。

ただ、ごみを減らす取り組みとして一番大切なのは、ごみを出す人が意識して分別し、再利用、再生使用することです。このことがごみを減らすだけではなく、資源を再活用する地球環境にやさしい取り組みの第一歩になります。

廃棄物減量等推進員の皆様は率先して3R（リデュース、リユース、リサイクル）の取り組みをお願いします。また、周りの人たちにも教えていただき、地域として積極的な取り組みをお願いいたします。



「第8期都島区廃棄物減量等推進員の皆様へ」

平素は、当局の事業各般にわたり、ご理解とご協力をいただきありがとうございます。

さて、本市では、平成15年10月に「大阪市廃棄物減量等推進員（愛称：ごみゼロリーダー）」制度を創設し、第8期（平成30・令和元年度）については、地域からご推薦をいただき、全市域で、約4,000名の方々に委嘱し、地域におけるごみ減量の普及啓発や実践活動に取り組んでいただきました。

おかげをもちまして、本市のごみ量も着実に減少してきており、これもひとえに、ごみゼロリーダーの皆様の2年間にわたるご尽力の賜物と感謝をしています。誠にありがとうございました。

今後とも一層のお力添えを賜りますようよろしくお願いいたします。

《編集・発行》

大阪市環境局 北部環境事業センター

大阪市北区同心2-8-14

TEL:06-6351-4000 FAX:06-6351-4049

<http://www.city.osaka.lg.jp/kankyo/index.html>

